

科名 血液内科

対象疾患名 高リスク急性骨髓性白血病

プロトコール名 ビキセオス 地固め療法

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	…	3	…	…	…	…	35
1	CV	メイン	生理食塩液	500mL	ルートキープ	↓		↓					
2	CV	側管	グラニセトロンバッグ アロカリス	1mg 235mg	30分かけて	↓							
3	CV	側管	グラニセトロンバッグ	1mg	30分かけて			↓					
4	CV	側管	ビキセオス 注射用水 生理食塩液	65U/m2 19mL 500mL	90分かけて 壞死性抗がん剤	↓		↓					

★1クール=35日間

## ～MEMO～

催吐リスク3(30%以上90%未満)

## ・地固め療法

本剤65ユニット(ダウノルビシン/シタラビンとして29mg/65mg)/m<sup>2</sup>(体表面積)を1日、1回、90分かけて、最大2サイクルまで投与する。

最後の寛解導入療法開始から5-8週間後に、1サイクル目として本剤を1.3日目に点滴静注する。1サイクル目の投与開始後に病態が進行していない患者で、本剤への忍容性が良好な場合、1サイクル目の地固め療法開始から5-8週間後に、2サイクル目として本剤を1.3日目に点滴静注する。

・必要量(mL)=ダウノルビシンの投与量(mg/m<sup>2</sup>) × 患者体表面積(m<sup>2</sup>) ÷ 2.2(mg/mL)

## ・地固め療法&lt;実施基準&gt;

- 寛解に到達した患者
- ECOG PS:0-2
- 左室駆出率(LVEF) ≥ 50%
- 好中球 > 500/μL
- 血小板数 > 50,000/μL

・希釈後、直ちに投与を開始すること。直ちに投与を開始しない場合は、2-8°Cで保存し、希釈後4時間以内に投与を開始すること。もし、溶解液を希釈前に4時間保存した場合、希釈後さらに4時間保存することはできず、直ちに投与を開始すること。